

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 過炭酸ナトリウム (酸素系漂白剤)
社名 株式会社K E K
住所 京都府京都市中京区小川通丸太町下る中之町86
電話番号 075-741-7701
F A X番号 075-741-7702

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理学的危険性	可燃性固体 爆発物 自然発火性化学品 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品	区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない
健康有害性	酸化性固体 急性毒性 経口 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 吸引性呼吸器有害性	区分2 区分4 分類できない 区分1 分類できない 分類できない 区分3 (気道刺激性) 分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 (急性) 水生環境慢性有害性 (長期性)	区分2 分類できない

※上記に記載のない危険有害性は、分類対象外、分類できないもしくは区分外

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ、酸化性物質。飲み込むと有害のおそれ。
重篤な皮膚の薬傷、眼の損傷、呼吸器への刺激のおそれ。
水生生物に有害。

注意書き

【安全対策】

可燃物、その他の禁忌物質から離して保管すること。
熱から遠ざけること。
火傷を防ぐ保護衣を着用すること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
衣類及び他の可燃物から遠ざけること。

【応急措置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。
大火災及び大量の場合：区域より退避させ、爆発の危険性により遠くから消火すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
衣類にかかった場合：服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類及び

製品安全データシート

皮膚を多量の水で洗い、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。

汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合: 直ちに医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合: 直ちに医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

可燃物、その他の禁忌物質から離して保管すること。

容器を密閉して換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学名又は一般名	: 過酸化ナトリウム (Sodium peroxide)
別名	: 過酸化ソーダ (Sodium dioxide) ペルオキシ炭酸ナトリウム (Sodium carbonate peroxyhydrate)
成分及び含有量	: 主成分 炭酸ナトリウム・過酸化水素付加物 含有量: $\geq 98\%$ wt
官報公示整理番号 (化審法)	: (1) -164 (炭酸ナトリウム)、(1) -419 (過酸化水素)
官報公示整理番号 (安衛法)	: 記載物質
CAS番号	: 15630-89-4
EC番号	: 239-707-6
危険有害性成分	: 過炭酸ソーダ

4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。 直ちに医師に連絡すること。 皮膚を速やかに洗浄すること。 皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
目に入った場合	: 直ちに医師に連絡すること。 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	: 直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水スプレー
使ってはならない消火剤	: 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素
特有の危険有害性	: 可燃物燃焼を助長する。火災熱で分解し酸素を発生する。
特有の消火方法	: 水のみ使用できる。
消火保護具	: 適切な空気呼吸器、防護服 (耐熱性) を着用する。
消火方法	: 周辺火災の場合、出来る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する、着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。

製品安全データシート

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : ばく露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。
環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。清掃時に環境水域を汚染しないように注意する。
- 除去方法 : 漏出物を蓋付きの容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。
蒸発を抑え、蒸気の拡散を防ぐため散水を行う。
散水は漏出物に直接かけないこと。
- 二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
漏洩物と水とを接触させてはいけない。又容器内に水を入れてはいけない。
床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
- 安全取扱い注意事項 : 可燃物や酸化されやすい物質との混触を避けること。
周辺での高温物の使用を禁止する。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
皮膚に付けないこと。
眼に入れないこと。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
- 接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 保管
- 技術的対策 : 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。
保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
- 保管条件 : 可燃物及び指定された禁忌物質から離して保管すること。
熱から離して保管すること。
燃焼性物質から離して保管すること。
火元の近くに保管しない。
施錠して保管すること。
- 混触危険物質
容器包装材料 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
製品仕様容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

- ばく露限界値 : 認定されていない。
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)
日本産業衛生学会 : 設定されていない。
(2005年版)
ACGIH(2005年版) : 設定されていない。
設備対策 : 取扱場所近くに洗顔及び身体洗浄の設備を設け、場内の換気を適正に行う事が望ましい。

製品安全データシート

保護具

呼吸器の保護具	: 防じんマスク、簡易防じんマスク
手の保護具	: ゴム手袋 (塩化ビニル製、ニトリル製など)
眼の保護具	: ゴーグル型または側板付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 長袖保護衣、前掛け、保護面、保護長靴
衛生対策	: 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 白色の粉末または結晶
臭い	: 無臭
pH	: 10~11 (3%水溶液)
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: なし
引火点	: データなし
爆発範囲	: データなし
溶解度	: 冷水に溶解しやすい。 エタノール、ジエチルエーテルには殆ど溶けない。
オクタノール/水分配係数	: データなし
GHS分類	
酸化性固体	: 酸化性物質 (区分2)

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の温度、圧力下では安定性あり。
危険有害反応可能性	: 水と激しく反応し、有毒ガスを発生する。
避けるべき条件	: 50℃以上の高温、可燃物との接触。
避けるべき物質	: 水、酸、塩基、重金属塩、還元剤、有機物質、可燃性物質
危険有害な分解生成物	: 酸化ナトリウム

11. 有害性情報

急性毒性	経口 LD50 ラット 1,034mg/kg 区分5 但し、JIS分類では区分に該当しないである。 経皮 LDLo ラビット >2,000mg/kg 吸入 (粉じん) データなし
------	--

局所効果

皮膚腐食性及び 皮膚刺激性	: 水溶液はpH10~11の強塩基性であることから区分1とした。 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 (区分1)
眼に対する重篤な 損傷性又は眼刺激性	: 水溶液はpH10~11の強塩基性であることから区分1とした。 重篤な眼の損傷 (区分1)
呼吸器感受性又は 皮膚感受性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	: 区分3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	: LC50=70.7mg/L 96H fathead minnow (アルドリッシMSDS) 区分3
水生環境慢性有害性	: 急性区分3 水溶性化合物のため 区分外

製品安全データシート

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
- 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

- 緊急時処置指針番号 : 140
- 国内法規制
- 陸上規制情報 : 消防法、道路法に定められている運送方法に従う。
- 海上規制情報 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- 国連番号 : 3378
- 品名 : 過炭酸ナトリウム (パーオキシ炭酸ナトリウム)
- クラス : 5.1
- 容器等級 : III
- 海洋汚染物質 : 非該当
- 航空規制情報 : 航空法に定められている運送方法に従う。
- 国連番号 : 3378
- 品名 : 過炭酸ナトリウム (パーオキシ炭酸ナトリウム)
- クラス : 5.1
- 容器等級 : III
- 国際法規制 : 航空輸送はLATAおよび海上輸送はIMDGの規制に従う。
- 海上規制情報
- UN No. (IMDG) : 3378
- Proper Shipping Name (IMDG) : Sodium carbonate peroxyhydrate
- Packing Group (IMDG) : III
- Class : 5.1
- 航空規制情報
- UN No. (LATA) : 3378
- Proper Shipping Name (LATA) : Sodium carbonate peroxyhydrate
- Packing Group (LATA) : III
- Class : 5.1
- 特別の安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確認する。
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質。
・ 皮膚刺激性有害物質「過炭酸ナトリウム、対象重量%は ≥ 1 」(安衛則594条の2)
なお、令和6年4月1日施行、令和7年4月1日及び令和8年4月1日施行予定の表示・通知対象物の追加物質にも非該当。
(法第57条、法第57条の2)
また、がん原性物質にも非該当。(安衛則第577条の2)
- 化審法 : 非該当 (2023/3/31、過酸化水素は優先評価化学物質から取消)

製品安全データシート

	された為)
消防法	: 非該当
毒劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 酸化性物質類・酸化性物質 (危険則第2・3条危険物告示別表第1)
航空法	: 酸化性物質類・酸化性物質 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
火薬取締法	: 非該当
高压ガス保安法	: 非該当
PRTR法	: 非該当
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16項
水道法	: 有害物質 (法第4条第2項)

16. その他の情報

参考文献	: 「化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂初版」 (化学工業日報社) 職場のあんぜんサイト (厚生労働省HP) 化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ (化学工業日報社) 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ (化学工業日報社) 化学物質の危険・有害性便覧 (中央労働災害防止協会編) 化学大辞典 (共同出版) 安衛法化学物質 (化学工業日報社) 化学物質の危険・有害性便覧 (労働省安全衛生部監修) GHS分類データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構HP) GHSモデルMSDS情報 (中央労働災害防止協会 安全衛生情報センターHP)
緊急連絡先情報	: 株式会社K E K 〒604-0086 京都府京都市中京区小川通丸太町下る中之町86 T E L : 075-741-7701 F A X : 075-741-7702 担当者: 岸本 恭平